

全体コンセプト

NEW HIROSHIMA GATEPARK

新しいライフスタイルの入口として、中央公園の新たな入口として、にぎわい溢れ、世界に誇れる求心力のある市民公園をつくります。



※事業区域外は提案書提出時のイメージです。

NEW HIROSHIMA GATEPARKで掲げる 2つのGATE

◎アフターコロナにおける「ニューノーマル(新しい日常)」への移行を見据えた公園の使われ方への配慮

市民の新しいライフスタイルへのGATE

私たちは旧広島市民球場跡地に、国内外・老若男女問わず多様な人々が集い、思い思いのオソト文化※の時間を過ごし、平和を実感できる市民公園を作ります。

◎中央公園はもとより、紙屋町・基町周辺を含むエリア全体の魅力向上及び回遊性向上につながるビジョン

地域全体の魅力と回遊性を高めるGATE

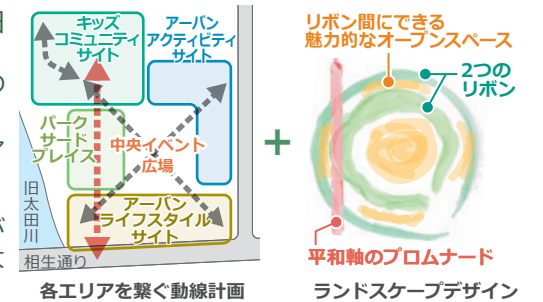
周辺ゾーンの要素を園内に取込み、さらに公園自体の魅力を高めることで、上位計画に沿った地域全体の魅力向上・回遊性向上に貢献します。

1 特定公園施設

旧広島市民球場の記憶を継承し、地域や店舗と呼応した、にぎわいのGATEPARK

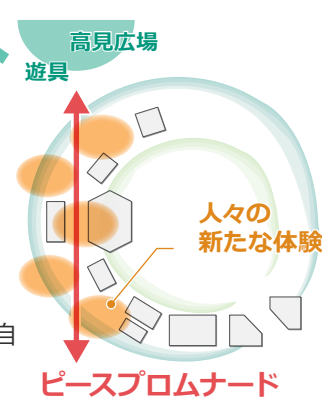
平和軸をつなぎ、未来の平和をつくるシンボルとなる「ピースプロムナード」と、旧広島市民球場の“かたち”を継承する「2つのリボン」を骨格とした公園を計画します。周辺ゾーンの特徴を園内に取込み、それぞれを結ぶことで、人を引き寄せるこの場所ならではのにぎわいと回遊性を生む公園とします。

- 2つのリボンと平和軸上のプロムナードを合わせたランドスケープが、旧球場の記憶と周辺環境をつなぎ、求心性のある広島の顔をつくります。
- 周辺の特徴を園内に取込み、それぞれを結ぶことで人を引き寄せるにぎわいと回遊の拠点となります。
- 風土に適した草木・風・光の設えと、目的に合わせて居場所を選択できる多様なオープンスペースを組み合わせ、心地良いオソト文化を育む場をつくります。
- 2つのリボンが用途の異なるエリアを明確に分け、円滑なイベント運営が可能です。また、インフラ設備を整備し、広場に分散して設けることで、大小様々なイベントが開催できます。



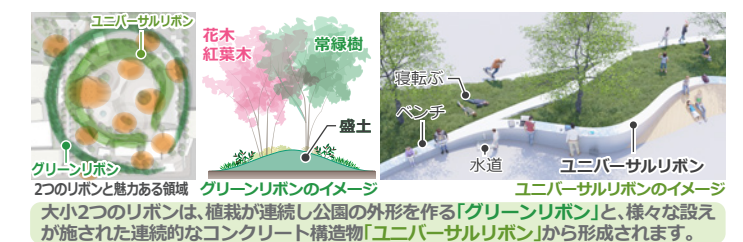
被爆敷石を用い、様々なシーンや体験を紡ぐことで、未来の平和をつくるシンボルとなる「ピースプロムナード」

- 風格ある未来への平和の象徴として「ピースプロムナード」を設置。被爆敷石や、桜並木などで平和軸を顕在化。
- 小広場や店舗など多様な要素配置により、訪れる全ての人が主役となるプロムナードに。
- 終着点の高見広場には、すべり台などの遊具を設置し、子供たちが自由に遊ぶ平和の風景を形成。



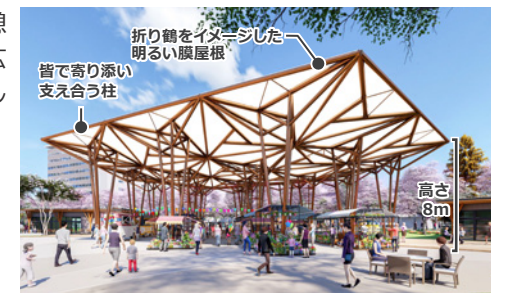
大小2つのリボンが、周辺の緑とネットワークを形成しながら様々なアクティビティを展開するランドスケープ

- 旧広島市民球場の形状を大小2つのリボンで表現。
- リボンに囲まれた中央イベント広場が野球場特有の祝祭性や中心性を継承。
- 周辺環境と調和した緑のネットワークを形成。



広場と店舗に寄り添い日常とイベントを支える憩いとにぎわいの屋根

- 屋根は、日常の憩いの場、イベント広場との連携の場として設置。

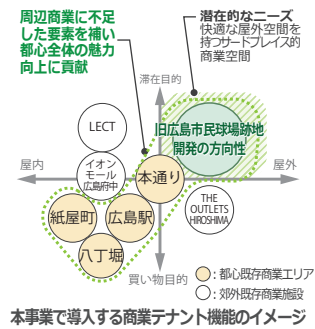


2 公募対象公園施設

広島市の都心に新しい人の流れとにぎわいをつくり公園と一体的に利用できる木造店舗群

周辺施設と共存しつつ、街に新たな目的と回遊性を生み出す「屋外環境×滞在型」施設を目指したコンテンツを選定します

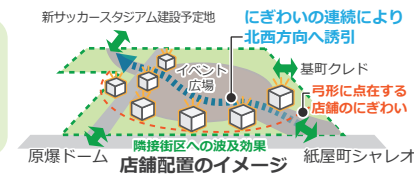
- 都心部で不足している「居心地の良い屋外環境」×「休憩できる滞在型施設」という新たな価値を創出。
- 公園の魅力を活かした「屋外環境×滞在型」施設を適切に配置。



弓形・点在型の配置により回遊を促し、店舗のにぎわいを最大限表出させます

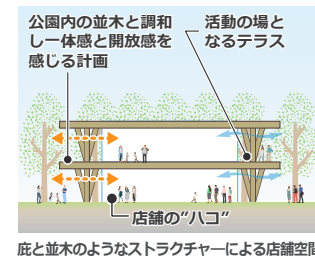
- 各店舗を公園の外周部に沿わせて点在させ、新サッカースタジアム方面へ人々を誘導。
- 点在型配置により店舗のにぎわいの表情を公園に多く表出。

にぎわいの連続により、紙屋町シャレオや紙屋町交差点からの人の流れを生み出し、中央公園の回遊性と高い集客性を実現



④建物内外をつなぐ軒下のテラス

- 整形な「ハコ」型の店舗を形成し開放的なデザインと必要な機能面を両立。
- 建物軒下のテラスは屋外アクティビティを誘発。

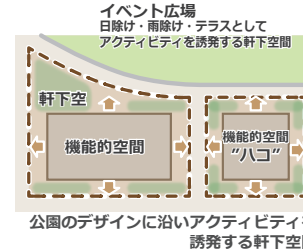


④軒下空間によるオト文化の育成

- 軒下空間は公園と一体的に利用。

④公園の魅力を高める建物

- 居心地の良いテラスを備え、木の温もりも感じられる建物。



3 指定管理業務

多彩な催しにより、1,000人以上の集客イベントを年間90日以上開催します

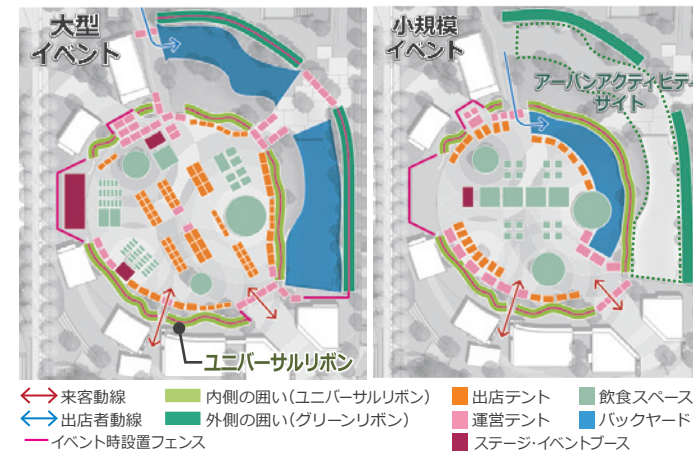
大型イベントと市民参加型イベントをバランスよく組み込み、年間を通じて多彩なにぎわい創出を実現します

④にぎわい創出のための3つの取り組み方針



④イベント規模・スタイルに合わせたフレキシブルな運用

- 大規模イベント開催時は、ストリートダンスやBMX、スケートボードなどが楽しめるアーバンアクティビティサイトをイベント出展者の駐車場やバックヤードとして使用可能。
- 小規模イベント開催時は、イベント広場外周エリアをバックヤードとして使うことで、アーバンアクティビティサイトは通常通り使用可能。



4 中央公園全体の魅力向上に向けた取組

中央公園及び都心の活性化に向け、都市再生推進法人指定を見据えた安定かつ確実な協議会運営を行います

④公園を「知る・繋ぐ・巡る」を柱とするエリアマネジメントの取り組み方針



④エリア価値向上及び都市再生推進法人指定に向けた直近5カ年事業計画

- 中央公園及び周辺地域のまちづくりの担い手として「都市再生推進法人の指定」を目標。

《1年目》 2021年度 (令和3)	《2年目》 2022年度 (令和4)	《3年目》 2023年度 (令和5)	《4年目》 2024年度 (令和6)	《5年目》 2025年度 (令和7)
協議会設立	本施設開業	新サッカースタジアム 中央公園広場エリア 広島城三の丸にぎわい施設など 開業	都市再生 推進法人 指定	都市再生 推進法人 指定
本施設開業に向けた 基盤づくり	中央公園まち開きに向けた 発信、ルール検討、 法人化準備	法人化 都市再生 推進法人 指定	法人化 都市再生 推進法人 指定	法人化 都市再生 推進法人 指定
・エリアマネジメント組織の 準備会 ・基礎調査、広報PRの検討	・イベントや広報PRを通じた市 民参加 ・回遊性（モビリティ）や景観（広 告物）のルール検討	・法人設立 （定款など手続） ・都市再生法人 指定への準備		

5 スケートボードパーク

都市文化と繋がる魅力的なオープンスペースを整備します

都心の公園に「若者文化と繋がり、若者やこどもの創造力を育む自由な活動の場所」を提供します



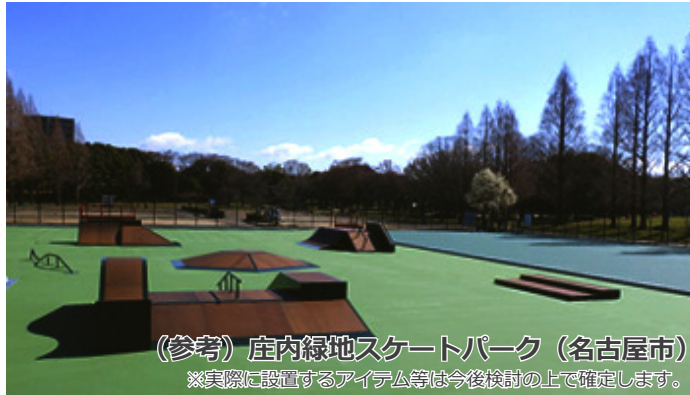
中央イベント広場東側のアーバンアクティビティサイトの一部にスケートボードパークを整備します

- アーバンアクティビティサイト約3,000㎡のうち約500㎡程度をスケートボードエリアとして整備。(※)
- 床面をコンクリート仕上げとし、ジャンプ台やボックスなどの可動式アイテムを設置。
- 指定管理者の自主事業として運営。

(※)大規模イベント開催時等は使用不可とする場合あり。

初心者でも気軽に利用しやすいスケートボードパーク

- 初心者から中級者程度の利用を想定。
- 初心者等を対象とした基礎技術、マナーなどを学ぶ体験会等を実施予定。



(参考) 庄内緑地スケートパーク (名古屋市)
※実際に設置するアイテム等は今後検討の上で確定します。



外野ライト側スタンドの活用イメージ①

6 勝鯉の森と外野ライト側スタンドの活用イメージ

勝鯉の森を核に緑をひろげ、旧広島市民球場の思い出を広く共有する場として整備します

外野ライト側スタンドのベンチ(座面)を再利用し、勝鯉の森に点在する記念碑群を鑑賞する緑陰の憩いのスペースを創出します

- 勝鯉の森の緑を核に樹林を広げ、平和記念公園の緑とつなげるとともに、本公園内の緑陰を充実します。
- 現存する樹林を極力保全し、北側に高木植栽や芝生地を設けることで、勝鯉の森と一体的なゾーンを形成。
- 旧広島市民球場の記憶として外野ライト側スタンドのベンチを勝鯉の森の北側で再現し一体的に整備します。
- 旧市民球場の外壁ラインに合わせてベンチをレイアウトし、階段状のスタンドを想起させる形で再整備。勝鯉の森の記念碑を眺める記憶の場であるとともに、イベント広場の様々なアクティビティを眺めるベンチエリアとしても機能。



外野ライト側スタンドのベンチ(座面)を再利用して、スタンドを再現

勝鯉の森付近のイメージ



外野ライト側スタンドのベンチ(座面)を再利用して、スタンドを再現

外野ライト側スタンドの活用イメージ②